

サンプルアプリケーション機能仕様書

TPM	TPM 太郎
GTPM	GTPM 太郎
PTL	PTL 太郎
GPM	GPM 太郎
発行日	2017 年 9 月 16 日

目次

1	はじめに	1
1.1	本システムの位置付け	1
1.2	用語の定義	1
2	動作環境	2
2.1	サーバー動作環境	2
2.2	クライアント動作環境	2
3	機能の概要	2
3.1	ユーザー向け機能	2
3.1.1	ログイン	3
3.1.2	登録	3
3.1.3	削除	3
3.2	管理者向け機能	3

1 はじめに

本書では、サンプルのアプリケーションの機能仕様を説明します。

1.1 本システムの位置付け

このアプリケーションは、仕様書のテンプレート説明のための架空のアプリケーションです。

1.2 用語の定義

HTML（ハイパーテキスト マークアップランゲージ）、HTML（エイチティーエムエル） ハイパーテキストを記述するためのマークアップ言語の 1 つである。

Markdown（マークダウン） 文書を記述するための軽量マークアップ言語のひとつである。

3 機能の概要

2 動作環境

2.1 サーバー動作環境

項目	値
オペレーティングシステム	CentOS 7
データベース	PostgreSQL 9.6
Java	Java 8

2.2 クライアント動作環境

項目	値
オペレーティングシステム	Windows 10
ブラウザ	Google Chrome

3 機能の概要

3.1 ユーザー向け機能

ユーザーは主に以下の流れで本システムを利用すると想定する。



図 1 利用の流れ

3 機能の概要

3.1.1 ログイン

ログイン機能の説明

3.1.2 登録

登録することができます。

■3.1.2.1 前提条件

ログインしている必要があります。ログインの詳細は、ログインを参照のこと。

■3.1.2.2 入力

以下の入力が必要です。（順序性はありませんが、あえて番号付きリストで書きます。）

1. 登録先
2. 登録するデータ

■3.1.2.3 エラーケース

以下の場合には エラー になります。

- ログインしていない場合
- 登録データが空の場合

3.1.3 削除

削除をすることができます。

3.2 管理者向け機能

ユーザーを登録削除する機能を保持します。